

佐久ケア・モデル研究会 ミニ講演会

【事業目的】

第二次佐久市総合計画の将来都市像である「快適健康都市佐久」の政策基盤となる「佐久ケア・モデル」を、佐久の 保健・医療・福祉の歴史や先行研究活動を検証し、新たに提示することを目的とする。

【講演会】

地域モデルは歴史的社会的なものとして正確に理解される必要がある。例えば、1867年1月（12月）に陸軍総裁に任じられた信濃国田野口藩（竜岡藩）の松平乗謨（まつだいらのりかた）が、財政破綻のため廃藩を申し出て大給恒と改名、日本赤十字社の前身である博愛社の設立と育成に貢献したというような事実は佐久地域の住民にはなかなか理解されてはいない。そこで、この地域で活動した保健医療福祉の実践家、行政担当者、地域の郷土史家への聞き取り調査を行い、正確な歴史として保存しデータを用いて新しい「佐久ケア・モデル」の提示をめざす。

【日 時】 令和7年7月22日（火）

【会 場】 佐久大学 4号館 4103教室

【スケジュール】

- | | |
|-------------|---|
| 14：40-14：50 | 開会 挨拶・講師紹介等 小山秀夫 客員教授 |
| 14：50-15：40 | 「テーマ佐久地方の風土と特色」 小林 収 氏
郷土史家佐久市誌編纂委員、元長野県地理学会理事
元小諸市立野岸小学校長、元佐久市文化財保護審議委員 |
| 15：40-16：30 | 「テーマ佐久地域における保健医療福祉の人材教育と課題
～佐久総合病院の発展から学ぶ～」 油井博一 氏
元JA佐久総合病院事務局長、JA長野会理事長
(有) いきいきワーク佐久 取締役専務、佐久学園理事 |
| 16：40-17：10 | まとめ |